



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 ゼット株式会社

コード番号 8135 URL <http://zett.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺裕之

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 山下龍美

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	28,234	0.7	△276	—	△225	—	△246	—
27年3月期第3四半期	28,027	△3.2	△181	—	△143	—	375	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △211百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 626百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△12.61	—
27年3月期第3四半期	19.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	20,402	8,076	39.6	412.60
27年3月期	19,777	8,328	42.1	425.37

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 8,076百万円 27年3月期 8,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,600	1.9	△30	—	50	—	20	△88.0	1.02

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	20,102,000 株	27年3月期	20,102,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	526,489 株	27年3月期	522,560 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	19,577,334 株	27年3月期3Q	19,583,429 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善のほか、インバウンド需要の拡大による経済効果もあり、緩やかな回復基調が続いております。一方、円安による物価上昇の影響で個人消費の回復の遅れがみられ、中国をはじめとする新興国等の景気下振れ懸念や、原油安の影響等もあり、引き続き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、①グループのスリム化と中核事業への集中、②自社品とカテゴリ別に独自の価値を創造、③低コスト経営（コスト競争力）の追求、④経営基盤(人材・IT・物流)の強化を基本方針とし、業績向上に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は28,234百万円(前年同四半期比0.7%増)、営業損失は276百万円(前年同四半期は営業損失181百万円)、経常損失は225百万円(前年同四半期は経常損失143百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は246百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益375百万円)となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

卸売部門は、景気の先行き不透明な状況のもと、個人消費の回復スピードは鈍く、天候不順や暖冬の影響もあり、厳しい経営環境が続いております。

「外商・スクール」及び「アスレ」マーケットは、野球・ソフト用品、サッカー用品が引き続き苦戦を強いられ、また、暖冬の影響により防寒衣料の販売も低調に推移いたしました。一方、ランニングブームを背景にシューズは好調に推移し、ラケットスポーツ分野においては、テニスの錦織選手や日本代表選手の活躍により、プレー人口やプレー機会の増加につながり、テニス・バドミントン用品、卓球用品は堅調に推移いたしました。「ライフスタイル」マーケットは、暖冬の影響もありアパレルが苦戦を強いられる中、アウトドア用品やカジュアルシューズ人気の高まりによりフットウェアが好調に推移しました。また、「TIMBUK2」のカジュアルバッグも好調に推移しました。「ボディケア」マーケットは、主力ブランドの苦戦は続いているものの、テーピング・サポーター類や健康志向の高まりによりフィットネス器具等が堅調に推移しました。

この結果、売上高は26,596百万円(前年同四半期比2.6%増)となりました。

(製造部門)

製造部門は、原価の低減、商品企画、開発力の強化並びに品質向上に努めました。野球・ソフト用品は、「プロステイタス」や「ネオステイタス」のハイグレードシリーズに加え、少年軟式野球選手向けの「グランドヒーロー」シリーズの販売を開始しました。また、当社が誇るクラフトマンの信念と技術を結集し、究極の捕球感を追及した硬式グラブ・ミット「プロステイタス」限定プレミアムを発売いたしました。バスケットボール用品は、「コンバース」のバッグが契約更改にあたり流通販路の変更による影響を受け減収となりました。

この結果、売上高は305百万円(前年同四半期比38.3%減)となりました。

(小売部門)

小売部門は、㈱ロッジが運営する本格的な登山用品ECサイト「PREMIUM SHOP」の販売が好調に推移しましたが、店頭販売は、暖冬の影響もあり登山ウェアが苦戦を強いられるなど登山用品の販売は苦戦を強いられました。また、㈱すぼ一つらんどコジマを平成27年7月末をもって閉店したことにより低調に推移しました。

この結果、売上高は413百万円(前年同四半期比8.5%減)となりました。

(その他部門)

物流部門は、外部受託業務における取扱の一部変更があったことにより、大幅な減収となり苦戦しました。

スポーツ施設運営部門は、前期からの販売促進活動を強化したこともあり、ほぼ計画どおり推移しました。

この結果、売上高は918百万円(前年同四半期比20.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ624百万円増加し、20,402百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1,038百万円減少したものの、現金及び預金が1,265百万円、商品及び製品が227百万円増加したこと等によるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ876百万円増加し、12,325百万円となりました。これは主に、短期借入金が71百万円、長期借入金が223百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が1,374百万円増加したこと等によるものであります。純資産については、前連結会計年度末に比べ251百万円減少し、8,076百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が37百万円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が286百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年11月6日の「平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,657	3,923
受取手形及び売掛金	8,701	7,662
商品及び製品	3,420	3,647
仕掛品	52	67
原材料及び貯蔵品	126	150
その他	148	184
貸倒引当金	△41	△40
流動資産合計	15,064	15,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,815	2,841
減価償却累計額	△1,965	△2,003
建物及び構築物 (純額)	849	838
土地	1,228	1,228
その他	1,215	1,261
減価償却累計額	△992	△994
その他 (純額)	222	266
有形固定資産合計	2,299	2,332
無形固定資産		
その他	64	57
無形固定資産合計	64	57
投資その他の資産		
投資有価証券	1,653	1,737
長期貸付金	39	38
敷金	256	249
その他	461	454
貸倒引当金	△63	△63
投資その他の資産合計	2,348	2,416
固定資産合計	4,712	4,806
資産合計	19,777	20,402

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,733	9,107
短期借入金	402	331
未払法人税等	45	6
未払消費税等	138	35
賞与引当金	225	112
その他	518	498
流動負債合計	9,064	10,092
固定負債		
長期借入金	445	221
繰延税金負債	387	429
退職給付に係る負債	370	383
長期未払金	277	276
その他	904	920
固定負債合計	2,384	2,232
負債合計	11,449	12,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	3,549	3,263
自己株式	△73	△74
株主資本合計	7,450	7,163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	875	912
繰延ヘッジ損益	4	0
為替換算調整勘定	27	26
退職給付に係る調整累計額	△29	△27
その他の包括利益累計額合計	878	913
非支配株主持分	—	—
純資産合計	8,328	8,076
負債純資産合計	19,777	20,402

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	28,027	28,234
売上原価	22,823	23,188
売上総利益	5,204	5,046
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	448	380
運賃及び荷造費	538	541
賃借料	191	177
役員報酬及び給料手当	2,193	2,088
貸倒引当金繰入額	△8	0
賞与引当金繰入額	82	106
減価償却費	109	121
その他	1,830	1,905
販売費及び一般管理費合計	5,386	5,322
営業損失(△)	△181	△276
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	16	20
受取賃貸料	13	13
業務受託料	16	26
その他	29	24
営業外収益合計	77	86
営業外費用		
支払利息	8	5
売上割引	25	26
その他	5	4
営業外費用合計	39	35
経常損失(△)	△143	△225
特別利益		
固定資産売却益	916	—
特別利益合計	916	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	773	△225
法人税、住民税及び事業税	48	21
法人税等調整額	349	△0
法人税等合計	397	21
四半期純利益又は四半期純損失(△)	375	△246
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	375	△246

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	375	△246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	235	37
繰延ヘッジ損益	11	△3
為替換算調整勘定	1	△0
退職給付に係る調整額	2	2
その他の包括利益合計	250	35
四半期包括利益	626	△211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	626	△211
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。